
岡山県瀬戸内市周辺のカメ相

岡野沙紀・亀崎直樹

岡山理科大学生物地球学部生物地球学科

Turtle fauna in Setouchi city, Okayama prefecture.

By Saki OKANO and Naoki KAMEZAKI

Department of Biosphere-Geosphere Science, Okayama University of Science

岡山県瀬戸内市牛窓町在住の方からニホンイシガメらしきカメが自宅の庭で産卵行動をしていたと連絡があり、その地域の淡水ガメの生息状況を調査する事になった。岡山県瀬戸内市は、岡山県の南東部に位置し、瀬戸内海に接する南部・東部の旧牛窓町、西部に旧邑久町、旧長船町が合併してできている。旧邑久町と旧長船町の地域に岡山平野の一部である千町平野がある。調査は千町平野のため池 5 か所、および千町平野を流れる千町川の 7 か所にて、カメを捕獲するための罠を仕掛けて行った。罠は 3 時間後に引き上げ、捕獲されたカメは背甲長 (CL)、背甲幅 (CW)、腹甲長 (PL)、体重 (BW) を計測し、個体識別をしてから放流した。その結果、カメは、池ではイシガメ、クサガメ、アカミミガメの 3 種類、川ではクサガメ、アカミミガメの 2 種類が確認された。池では一か所でアカミミガメ 1 個体が捕獲されたが、5 池中 3 池でクサガメが計 7 個体、5 池中 2 池でイシガメが計 3 個体捕獲された。池での各種の捕獲個体数はクサガメが 7 匹、アカミミガメが 1 匹、イシガメが 3 匹で、CPT(1 罠あたりに捕獲されたカメの個体数) はクサガメが 0.2、アカミミガメが 0.04、イシガメが 0.1 だった。川での各種の捕獲個体数はクサガメが 1 匹、アカミミガメが 20 匹で、CPT はクサガメが 0.03、アカミミガメが 0.5 だった。川では 93% のカメがアカミミガメであった。池で唯一アカミミガメが捕獲された寒風池は、調査池の中で最も千町川に近く距離が 1.6km だった。川ではアカミミガメの割合が 95% で、アカミミガメが他種を圧倒していた。一方、池ではクサガメの割合が 63% でイシガメも 27% の割合で生存していた。また、アカミミガメは寒風池で 1 個体捕獲されただけだった。以上のことより、この地域では、川からアカミミガメが侵入したことがうかがわれた。イシガメは 5 池中 3 池で 3 匹捕獲され、クサガメの 7 匹よりも少なく、両者が競争関係にあるのならイシガメの存続は危うい状態かもしれない。